



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月28日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 東名
コード番号 7931 URL <https://www.mirai.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中島 靖
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 吉澤 信幸 TEL 0584-68-1200
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年3月21日～2024年12月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	34,969	2.6	5,693	△0.3	5,823	△0.1	3,946	△0.8
2024年3月期第3四半期	34,071	13.4	5,709	74.1	5,829	73.4	3,980	78.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,996百万円 (△6.1%) 2024年3月期第3四半期 4,255百万円 (87.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	244.73	—
2024年3月期第3四半期	233.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	65,112	52,251	79.2
2024年3月期	63,534	50,792	78.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 51,543百万円 2024年3月期 50,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	50.00	—	100.00	150.00
2025年3月期	—	50.00	—		
2025年3月期（予想）				80.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年3月21日～2025年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,292	2.7	6,609	△9.9	6,749	△9.7	4,563	△10.8	283.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	25,607,086株	2024年3月期	25,607,086株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	9,466,726株	2024年3月期	9,489,520株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	16,127,706株	2024年3月期3Q	17,031,327株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境に改善が見られる等、経済活動の正常化が緩やかに進みました。しかしながら、為替の変動や不安定な国際情勢を背景として原油価格が高水準で推移し、原材料価格はユーティリティコストの更なる増大による高止まりが継続する等、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業関連である建築業界では、新設住宅着工戸数が物価高騰による住宅取得マインドの低下等から持家及び戸建分譲住宅の減少が続く等弱含みで推移いたしました。また、非住宅建築物の着工状況につきましても前年同期に比べ棟数、床面積ともに減少傾向が続いており、厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは継続的な新製品の市場投入に加え、活発な営業活動を展開してまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、電材及び管材に加え配線器具の価格改定が浸透したこと等により、売上高は34,969百万円と前年同四半期に比べ898百万円(2.6%)の増収となり、第3四半期の売上高としては過去最高額を更新いたしました。利益につきましては、増収効果があったものの原材料単価の上昇が収益を圧迫したことにより、営業利益は5,693百万円と前年同四半期に比べ15百万円(0.3%)の減益、経常利益は5,823百万円と前年同四半期に比べ5百万円(0.1%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,946百万円と前年同四半期に比べ33百万円(0.8%)の減益となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

(電材及び管材)

電材及び管材につきましては、建築工事現場において技能労働者の不足が叫ばれるなか、作業の省力化を目指した製品づくりとともに、さまざまな現場に適した多種多様な製品展開を進めることにより、業界の支持を得ております。

電材では、施工性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキシSS」等が堅調に推移したことに加え、硬質ビニル電線管「J管」や地中埋設管「ミラレックスF」とその附属品等が増加したことにより、電線管類及び附属品が増加した結果、売上高が27,123百万円と前年同四半期に比べ548百万円(2.1%)の増収となりました。営業利益は増収効果があったものの原材料単価の上昇が収益を圧迫したことにより、5,302百万円と前年同四半期に比べ86百万円(1.6%)の減益となりました。

(配線器具)

配線器具につきましては、電材ルートへの活発な営業活動により、デザインを一新した「J・ワイドスリムスクエア」等の配線器具が堅調に推移した結果、売上高が5,603百万円と前年同四半期に比べ434百万円(8.4%)の増収となりました。営業利益は原材料単価の上昇に加え人件費の増加等があったものの増収効果により539百万円と前年同四半期に比べ212百万円(64.8%)の増益となりました。

(その他)

その他につきましては、「省力化機械及び樹脂成形用金型」が減少した結果、売上高が2,242百万円と前年同四半期に比べ84百万円(3.6%)の減収となりました。営業利益は電気通信の「ミライレンタルサーバ」や「ケーブルテレビ」の減価償却費の増加により440百万円と前年同四半期に比べ39百万円(8.2%)の減益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,578百万円増加し、65,112百万円となりました。その主な要因は、売上高の増加により受取手形、売掛金及び契約資産が319百万円増加、電子記録債権が934百万円増加、設備投資により有形固定資産が226百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて120百万円増加し、12,861百万円となりました。その主な要因は、仕入高の増加により支払手形及び買掛金が699百万円増加、電子記録債務が111百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,458百万円増加し、52,251百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が1,365百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月24日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,929	19,010
受取手形、売掛金及び契約資産	7,835	8,154
電子記録債権	4,818	5,752
商品及び製品	4,636	4,619
原材料及び貯蔵品	1,668	1,813
その他	1,553	2,477
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	40,438	41,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,503	5,201
機械装置及び運搬具(純額)	2,719	3,113
土地	4,643	4,617
建設仮勘定	558	670
その他(純額)	764	812
有形固定資産合計	14,190	14,416
無形固定資産	131	190
投資その他の資産		
投資有価証券	1,636	1,726
繰延税金資産	1,067	894
退職給付に係る資産	1,683	1,686
長期預金	4,000	4,000
その他	486	472
貸倒引当金	△99	△99
投資その他の資産合計	8,774	8,680
固定資産合計	23,096	23,286
資産合計	63,534	65,112
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,712	3,411
電子記録債務	1,688	1,800
短期借入金	40	237
1年内返済予定の長期借入金	145	153
未払法人税等	1,762	560
賞与引当金	—	443
その他	3,842	3,629
流動負債合計	10,190	10,236
固定負債		
長期借入金	80	77
再評価に係る繰延税金負債	60	60
株式付与引当金	1,184	1,200
役員株式付与引当金	22	48
役員退職慰労引当金	97	107
退職給付に係る負債	679	689
その他	425	441
固定負債合計	2,550	2,625
負債合計	12,741	12,861

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,904	9,904
利益剰余金	52,439	53,804
自己株式	△19,853	△19,810
株主資本合計	49,557	50,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	552	608
土地再評価差額金	△600	△600
退職給付に係る調整累計額	622	569
その他の包括利益累計額合計	575	577
非支配株主持分	660	707
純資産合計	50,792	52,251
負債純資産合計	63,534	65,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)
売上高	34,071	34,969
売上原価	20,287	20,947
売上総利益	13,783	14,021
販売費及び一般管理費		
運賃	1,769	1,777
貸倒引当金繰入額	△0	0
役員報酬	190	211
給料及び手当	2,614	2,677
賞与引当金繰入額	136	141
退職給付費用	88	81
株式付与引当金繰入額	17	19
役員株式付与引当金繰入額	15	25
役員退職慰労引当金繰入額	8	10
その他	3,233	3,382
販売費及び一般管理費合計	8,074	8,327
営業利益	5,709	5,693
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	54	62
保険事務手数料	3	4
作業くず売却益	16	15
その他	55	76
営業外収益合計	140	170
営業外費用		
支払利息	2	4
社債発行費	6	5
固定資産除却損	4	8
支払補償費	3	19
その他	3	3
営業外費用合計	20	40
経常利益	5,829	5,823
特別利益		
補助金収入	50	—
特別利益合計	50	—
特別損失		
固定資産圧縮損	50	—
特別損失合計	50	—
税金等調整前四半期純利益	5,829	5,823
法人税、住民税及び事業税	1,621	1,664
法人税等調整額	171	165
法人税等合計	1,792	1,829
四半期純利益	4,036	3,994
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	47
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,980	3,946

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)
四半期純利益	4,036	3,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	256	55
退職給付に係る調整額	△37	△53
その他の包括利益合計	218	1
四半期包括利益	4,255	3,996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,199	3,948
非支配株主に係る四半期包括利益	55	47

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)
減価償却費	1,506百万円	1,603百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年3月21日 至2023年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,574	5,169	31,744	2,327	34,071
セグメント間の内部売上高 又は振替高	184	0	184	3,188	3,373
計	26,758	5,170	31,929	5,515	37,444
セグメント利益	5,389	327	5,716	480	6,196

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,716
「その他」の区分の利益	480
セグメント間取引消去	27
全社費用(注)	△515
棚卸資産の調整額	△3
有形固定資産の調整額	5
無形固定資産の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	5,709

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2024年3月21日 至2024年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,123	5,603	32,726	2,242	34,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	186	0	186	3,693	3,879
計	27,309	5,604	32,913	5,935	38,849
セグメント利益	5,302	539	5,842	440	6,282

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,842
「その他」の区分の利益	440
セグメント間取引消去	30
全社費用(注)	△552
棚卸資産の調整額	0
有形固定資産の調整額	△66
無形固定資産の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	5,693

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。